

浄土宗の偈文・真言・陀羅尼

序章 偈文とは、真言・陀羅尼とは

- 第一章 日常勤行式の偈文
- 第二章 法要の偈文
- 第三章 喪儀と追善回向の偈文
- 第四章 作法の偈文
- 第五章 その他の偈文
- 第六章 真言・陀羅尼

第一章 日常勤

香偈(こうげ)

願我身淨如香炉
 (がんにんじょうにようろう)
 願我心如智慧火
 (がんにんじょうにようろう)
 念念梵焼戒定香
 (ねんねんぼんじょうかういじょうこう)
 供養十方三世仏
 (くようじつぱうさんざせぶつ)

願わくは我が身淨きこと香炉の如く
 願わくは我が心智慧の火の如く
 念々に戒定「かいじょう」の香を梵焼して

鳴鐘偈(めいしやうげ)

願諸賢聖 (がんにしよげんじょう)
 同入道場 (どうにゆうどうじょう)
 願諸惡趣 (がんにしよあくしゆ)
 俱時離苦 (くじりく)

願わくは諸賢聖、
 同じ道場に入りたまえ。
 願わくは諸惡趣、
 俱時「くじりく」に苦を離れたまえ。

法要を始めるに当たって、喚鐘(かんしやう) (小型の釣り鐘)などを鳴らして僧を集める時に唱えられる偈文です。この鐘が合図となって法会が始まりますので、偈文もその成功を願うものとなっています。

まず前二句ですが、法要を始めるので、もろもろの賢聖が道場(本堂)に参りましように」と述べています。「賢聖」とは、くわくわい言いますと、仏教の真理を体得した聖と、そこまでは至らないが悪きものを完全に絶った賢の、二種類の聖者(修行者)をいいますが、ここでは仏・菩薩や天部・羅漢といった仏さまのことだと考えてよいでしょう。また、これから法要を執り行なう僧侶たちも指していると思われま。

〇如意輪観音の真言

如意輪観音は、意のごとくに願いをかなえてくれる如意宝珠のように願望を成就してくださる、福智を与えてくれる観音さまといわれ、主に女性の信仰を集めてきました。その姿も六臂で右膝を立てたラフなもので、女性的な感じがします。

「根本陀羅尼」と「心呪」と「中心呪」の三種があります。いずれも「観世音菩薩秘密如意輪観音陀羅尼神呪經」に出ます。

これを「根本陀羅尼」または「身呪」といいます。如意輪観音のもっとも基本となる真言です。伊藤丈氏は、この真言を次のように訳しています。

右の真言は密教の守護神である十二天の一尊である焰摩天(えんまてん)の真言です。密教に取り入れられた閻魔王ですが、こちらの方が楽園の主としての性格を残しています。真言の意味は「梵字大蓋」によれば、「あまなき諸仏に帰命したてまつる。(とくで) 焰摩天に帰命したてまつる。スヴァーハー」です。

〇キヤカラバア

これは正確には真言ではなく、五輪の種子です。五輪とは仏教宇宙論で説かれる主要元素(五大)「ふぶきには空(大)、風(大)、火(大)、地(大)をいいます。密教ではつて象徴します。すなわち、空(大)風(大)半月形、火(大)三角形、水(大)四角形、この五つの形を順に積み上げたものです。

「初、水晶や金属で作られて仏舎利容だが、やがて石造とされて墓標にもうになりました。さらにこれを木製

第二節 施餓鬼の偈文

破地獄偈

若人欲了知(にやくにんよくりやうち)
 三世一切仏(さんぜいっさいぶつ)
 応觀法界性(おうかんほうかいしやう)
 一切唯心造(いっさいいひんぞう)

若し、しん三世の、一切の仏を知せんと思はせし、応「まこと」に法界の性を觀すべし。一切唯「こころ」だ心の造なり。

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ

「破地獄偈」と呼ばれる偈文は他宗施餓鬼会で唱えられていますが、宗派典が異なり、文句が異なります。本宗で唱えているのは、「華嚴經」(八十華嚴)官品第十九に依るものです。この箇所から集まった十八人の菩薩がそれぞれの終りの四句がこの「破地獄偈」です。興味深いのは、「破地獄」といなが述べたように、「物理的に地獄や餓たり、その存在を無化したりするもの」

ノウボウ アラタンノウ

四智讚(しちちさん)

オンバサ ラサ アタンバ シギヤ
 ラカ バサラ アタンノ マド
 オタラン バサラダルマギヤヤ ナ
 アバサラ アゲルマギヤロ ハバ

この「四智」を普め讃える「四智讚」には、サンスクリット語の語に基づく「梵讚」(四智梵語)と、漢訳されたものである「漢讚」(四智漢語)があります。最初にあげたものは梵讚の方で、密教の祖師の一人である不空三蔵が伝えたという「時処軌」に載っております。また、不空訳「教主經」にも金剛歌(金剛歌詠真言)として載っておりますが、通用している漢字音写とは大きく異なる表記になっています。

同じ梵讚でも宗派によって読み方に違いがあるのですが、天台宗や真言宗では本宗と同様に声明(しょうみょう)(仏教音楽の一曲として唱えら

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ

「破地獄偈」というのは、「地獄を破壊してしやう偈文」ということではなく、「地獄の苦しみを除く偈文」という意味です。施餓鬼で救済の対象とされる餓鬼は、地獄ではなく餓鬼道に在るわけ